

砂子田名誉会長に知事感謝状



畠副知事から知事感謝状を受ける砂子田氏(右)

都内で二日に開かれた東京福島県人会春季総会・懇親会では、会長を五期十年務めた砂子田隆氏の功績をたたえた。畠利行副知事が知事感謝状を伝達した。

二〇〇八(平成二十)年に会長に就いた砂子田氏は本県出身者のけ

ん引役として、母県との交流促進や観光誘客などを推進。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故後は古里の復興を願い、支援活動や風評払拭(ふっしょく)イベントなどで組織をまとめた。

砂子田氏は総会の席上、「十年という長きにわたり大変お世話に

なった。地域社会に生きるということは何かを県人会で学んだ」とあいさつした。

約百四十人が出席した。原発事故に伴う風評の払拭や復興の加速に一丸となって取り組むことなどを盛り込んだ二〇一八年度事業計画を承認した。福島民報社から真田裕久東京支社長が出席した。